

①高速バスの利便性向上

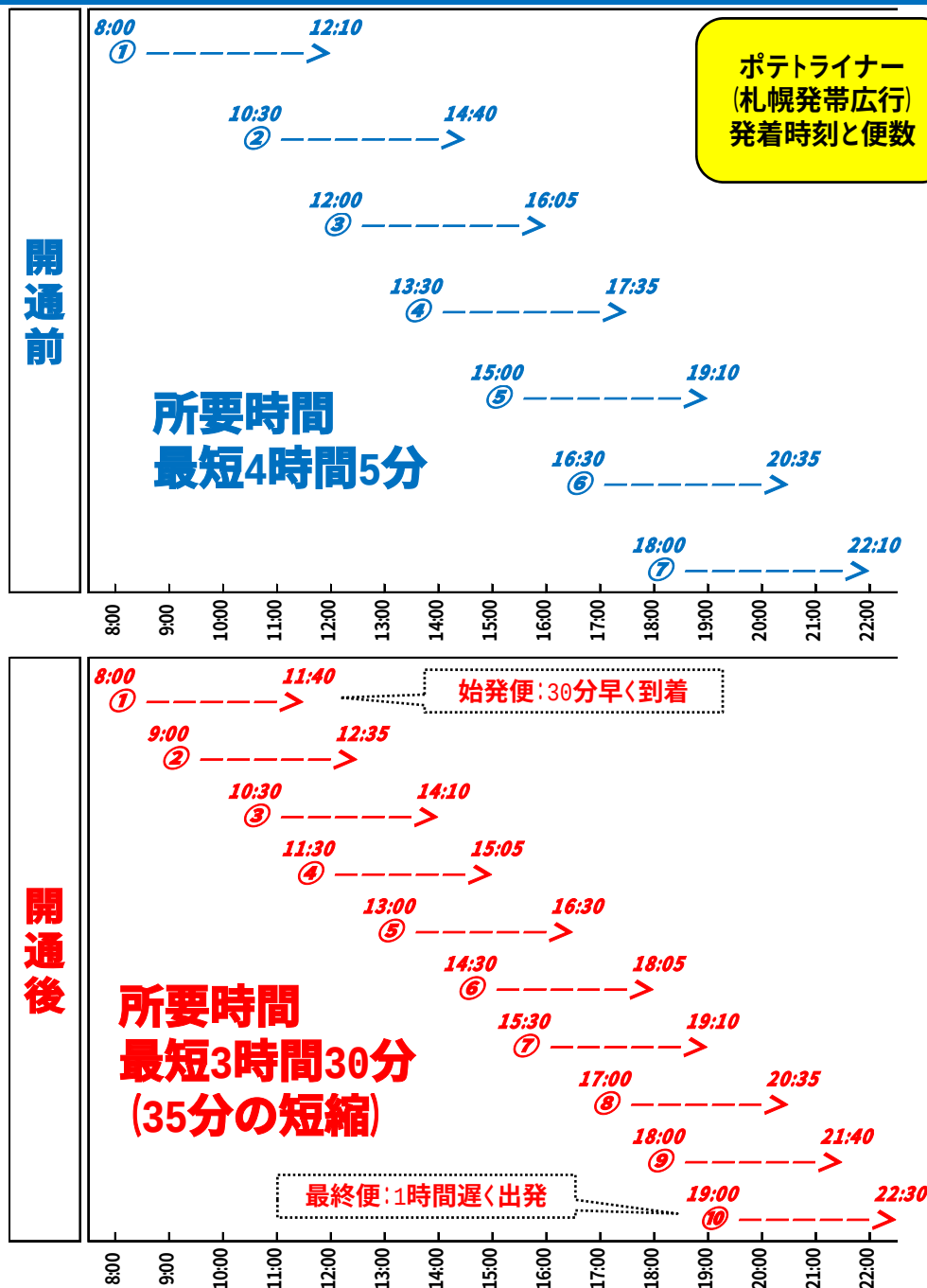
- 道東道（夕張～占冠）の開通により、運行所要時間の短縮や、運行便数の増加など都市間バスの利便性が向上。

【札幌～帯広間の都市間バスの例】

- ① 20～35分の時間短縮
- ② 1日当り3往復を増便
- ③ 占冠PAでの途中休憩を新たに設定

地域の声 《バス事業者の方》

- ・道東道の開通により、札幌～帯広間の所要時間が最大で35分短縮。出発時間を遅らせたり、途中の占冠PAで休憩時間（10分）を設けることが可能となり、お客さまの利便性が向上しました。
- ・カーブの多い一般道路に比べて走行環境が良くなったことから、ドライバーの疲労が軽減。お客さまの車内での快適性も向上していると思われます。



②十勝の観光産業を支援



○道東道開通による行動圏の拡大などにより、豊富な観光資源を持つ十勝の観光産業を支援。

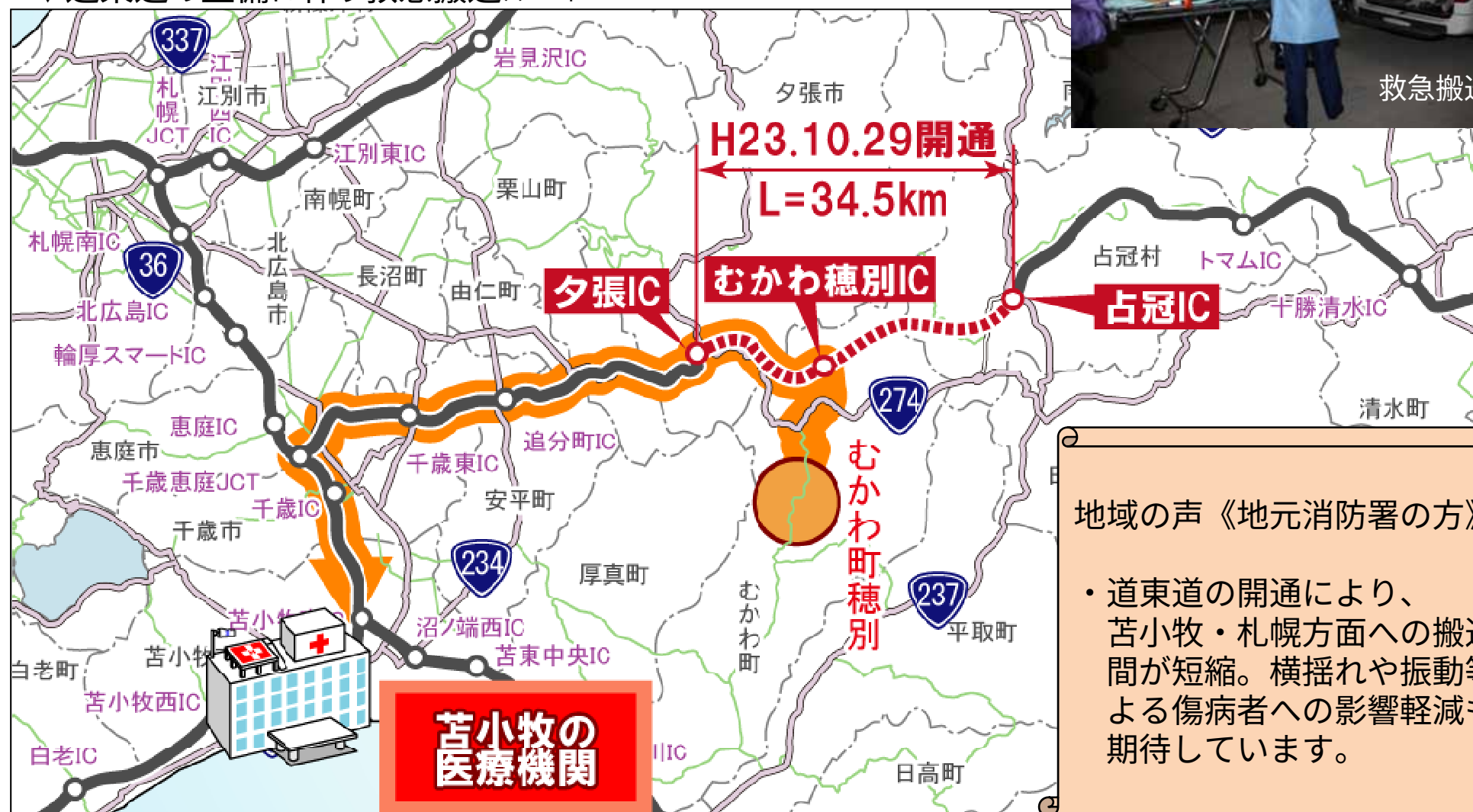
地域の声《観光事業者の方》

- ・道東道が開通してから、ホテル(十勝地区)の駐車場には札幌ナンバーの車が多くなりました。1月までの週末は多くの宿泊予約を頂いております。
- ・道東道の開通により、新千歳空港から約2時間30分、札幌方面から約3時間で結ばれ、観光地としてのセールスポイントの一つが生まれました。

③地域医療の環境改善

○道東道（夕張～占冠）の開通により、
搬送時間が短縮し、搬送時の傷病者への影響も軽減され、
地域医療の環境改善をサポート。

▼道東道の整備に伴う救急搬送ルート



救急搬送の訓練

地域の声《地元消防署の方》

- ・道東道の開通により、
苫小牧・札幌方面への搬送時間が短縮。横揺れや振動等による傷病者への影響軽減も期待しています。